



東京赤坂ロータリークラブ

NO.1150 / 2013. 06. 14

例 会/ANA インターコンチネンタルホテル東京

Tel 03-3505-1111

事務局/〒107-0052 東京都港区赤坂 2-19-8

赤坂 2 丁目アネックス 3F

Tel 03-3505-5976

Fax 03-3505-6004

<http://www.akasakarotary.com/>

東京赤坂ロータリークラブ週報 Weekly Report

2012~2013 年度クラブテーマ
会長 尾関 武男

「僅かなことにも手を差し伸べよう、そして信頼と絆」
Give a hand to even to the small things. Build trust and bonds.

●本日の例会/ 2013 年 6 月 14 日 第 1258 回

本年度第 6 回・次年度第 1 回クラブ協議会
「本年度各委員会活動報告
次年度各委員会活動計画」

●前回報告/2013 年 6 月 8 日 第 1257 回例会 福山赤坂 RC 東京赤坂 RC 姉妹締結式・合同例会



6 月 8 日(土)夕刻 5 時より広島県尾道市因島の「因島ホテル」において、合同、移動例会が行われ、引き続き「福山赤坂ロータリークラブ・東京赤坂ロータリークラブの姉妹クラブ締結式」が執り行われました。実行委員長の締結書の趣旨説明に続き福山赤坂ロータリークラブ佐藤貢会長と我クラブの尾関会長による締結書のサイン、記念品(ニコニコボックス)の交換のあと、来賓として 2710 地区大ノ木精二ガバナーのご祝辞をいただき、無事に福山赤坂ロータリークラブ徳永実行委員長の閉会の辞により終了しました。



調印式に続き、因島村上水軍陣太鼓保存会による勇壮な太鼓により始まり、両クラブの懇親会が盛大に行われました。瀬戸内海の美酒、美味そしてスケールの大きな閑流家元小川閑流様(松永ロータリークラブパスト会長)による生花アトラクションに酔いながら両クラブの途切れることのない契を全員で確認しつつお開きとなりました。
(姉妹クラブ締結実行委員会 小林記)



出席報告： 合計 91 名 (内 来賓 5 名、松永 RC16 名、福山赤坂 RC：45 名 (ご家族 9 名、事務局 1 名)、赤坂 RC25 名)
ご来賓： RI 第 2710 地区ガバナー大ノ木精二、パストガバナー天野肇、グループ 11 ガバナー補佐 宇田信士、松永 RC 会長、松永 RC 幹事 (敬称略)

赤坂 RC： 会員 44 名 / 出席 18 名 欠席 26 名

出席者： 飯島、石井、岩上、河邊、小林、松本、村山、西澤、大日方、小原、尾関、島本、清水、関、高須、田村、吉岡、土屋

ご家族： 石井喜子、岩上曜子、小林昭子、小原栄子、清水茂子、田村光代、土屋淑子 (計 25 名順不同・敬称略)



6 月 8 日(土) ニコニコはお休みです。

(飯島幹事より)

●次回予告/ 2013 年 6 月 21 日(金) 第 1259 例会
ピアニスト 泉 晶子氏による
ピアノコンサート

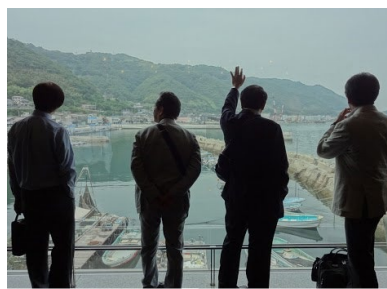


6月8日、9日 親睦旅行報告

今年は、福山赤坂ロータリークラブとの姉妹締結に便乗した形での、特別な親睦旅行でした。6月8日（土）ANA675便、11時に広島空港に着くと、福山赤坂ロータリークラブのお二人が出迎えに来られていました。そこに、別便の川邊さんが合流、バスで一路最初の観光地、鞆の浦に向かいました。道中、福山の方々が気を利かせて冷たいものをたっぷり用意してくれていたものですから、皆さんすっかりいい気持ちになってしまいました。鞆の浦の欧風亭では、さらに土屋夫妻、島本さんも合流した上で、豪勢な海鮮料理に舌鼓を打ちました。ここ鞆の浦は鯛が有名、刺身はもちろん、しゃぶしゃぶといった珍しい食べ方も。食後は、先ず元禄年間に創建された客殿「対潮楼」を訪問、この日は幸い天気にも恵まれ、座敷からの海を眺めはまさに「日東第一形勝」でした。続いて、狭い路地を通して、大蔵の中に作られたいろは丸展示館に行き、龍馬と海援隊の船「いろは丸」の引き揚げ物、龍馬の隠れ部屋等を見て往時を偲びました。その後は、しまなみ海道の景観を堪能しながら、締結式が行なわれる会場であり、宿泊場所である「ホテルいんのしま」に向かいました。移動例会、姉妹クラブ締結式、懇親会の様子は別掲するとして、終了後は式や祝宴の興奮収まらず、10数人のメンバーは福山赤坂の担当者等とともに、夜の街（町？）に消えていったようでした。

翌9日（日）は、8時半にホテルを出発、しまなみ海道から隣の生口島に渡り、先ず平山郁夫美術館を見学。受付で気軽に案内をお願いしたところ、館長自らが出て来て、全館を案内をしてくれました。館長は平山画伯の実の弟さんで、肉親ならではの話をたっぷり聞かせていただきました。バスガイドの話では、これほど時間をかけたことは未だかつてなかったということです。両赤坂ロータリーの実力の所為かと思いたったのですが。続いて、同館に隣接した耕三寺を見学、堂塔の数々は日本の代表的建築の様式や手法が取り入れられ、復元されており、不思議な世界を想わせていました。この後、1時間ほどかけてしまなみ海道経由で尾道に渡り、尾道グリーンヒルホテルで昼食、当初ゆっくりと尾道市内の散策を予定していましたが、時間が足りず、千光寺公園内の文学のこみちの一部を散策するに留まりました。福山赤坂の方々からは、「これから何度でも来てもらいますので、見るところを残しておいて頂く位がよろしいですよ」とお言葉を頂きました。この日は福山赤坂の佐藤会長、岡本幹事、徳永実行委員長の3人が一日中同行して下さり、最後には広島空港でお見送りまでしていただきました。

今回の親睦旅行は、姉妹クラブ締結の関係で、宿泊、旅行のプランニング、そして旅行の添乗と、すべて福山赤坂ロータリークラブ様に、また、当クラブの小林実行委員長に頼りきりでした。親睦活動委員会としては、関係の皆様にとただただ感謝するばかりです。本当にありがとうございました。また、参加者はご家族7名を含め、総勢25名でした。最近にない大盛況な親睦旅行であったことを付け添えておきます。（村山記）



（写真：関陽一会員）